

経済界 2008.10.14

タイトルを見ただけでは何の本か分からない。そこがこの本のミソである。その種明かしをすれば、ミスをした野手は「太陽が眩しくなかったか？」などなど、言い訳を探すのだそうだ。このようなエピソードを軸にして、M&Aと企業防衛を解説した風変わりなビジネス書である。著者は旧三菱銀行でM&Aのアドバイザーをしていた金融のプロであるが、慶応義塾大学の準硬式野球部で大活躍し、今も地元少年チームの監督を務めるなど「野球人」を自任する。

『フライを落とした野手はなぜ空を見上げるのか？』

著者 ■ 保科充弘
発行 ■ 幻冬舎ルネッサンス
定価 ■ 1,365円

